

## 第5回「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」

### 議 事 録

(日 時) 平成19年12月11日(火) 13:30～15:30

(場 所) 京都ホテルオークラ 3階 翠雲の間

(議事次第)

1. 「歩いて楽しいまちなか戦略」社会実験実施計画案について
2. その他

(資 料)

資料1 「歩いて楽しいまちなか戦略」社会実験実施結果について

資料2 関連データ集

参考資料 第4回協議会議事録

京都新聞(10/25朝刊)一面広告(四条繁栄会商店街振興組合)

「かわらまちよるバス」チラシ

「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」委員名簿兼第5回協議会出席者名簿

「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」第5回協議会座席表

(出席者名簿)

分 類	所 属 機 関	委 員 氏 名	出 欠 (代理出席)	
学 術 担 当 者	京都大学大学院工学研究科教授 (講義)	北村 隆一	出席	
	立命館大学理工学部教授 (副講義)	原口 博司	出席	
	京都大学大学院経済学研究科教授 (副講義)	岡田 知弘	出席	
	京都大学大学院工学研究科教授	中川 大	欠席	
地 究 組 織	自 治 体 会 会 等	鞍馬学区会会長	岩岡 英治	出席
		初音学区会会長	丹前 平	出席
		鞍馬学区会会長	藤野 英雄	出席
		網走学区会会長	大橋 繁金	出席
		明倫学区会会長	吉田 孝次郎	出席
		日新学区会会長	澤田 寛	出席
		生野学区会会長	山田 隆三郎	出席
		立誠学区会会長	山本 朝三	出席
		成徳学区会会長	大森 薫徳	出席
		豊園学区会会長	比島 昭男	出席
	新野学区会会長	大森 祐三九	出席	
	生野学区会会長	八木 洋一	(代) 前田美 幸上 清次	
	東山交通対策研究会	東山区役所区民部長	池田 謙	出席
	商 業 関 係 者	京都駅前連盟会長	早瀬 豊男	出席
		京都駅前連盟中京東支店支店長	石野 隆	出席
		四馬町商店街振興組合理事長	池 智一郎	(代) 前田孝次 西川 勲
		新京極商店街振興組合理事長	船岡 修作	出席
		中町京極商店街振興組合理事長	津田 和直	(代) 理事 長村 謙和
		京都橋本市場商店街振興組合理事長	守藤 高典	出席
		四条新地商店街振興組合理事長	堀部 泰弘	出席
三条小橋商店街振興組合理事長		大西 弘太郎	出席	
パレット河原町商店街振興組合理事長		岡本 昌男	出席	
河原町船場商店街振興組合理事長		西口 正博	出席	
百 貨 店	株式会社高島屋京都店総務部長	大井 義雄	出席	
	株式会社丸京百貨店総務推進部マネージャー	大橋 弘司	出席	
京 都 商 工 会 務 所	協賛総務・総務推進部長	早谷 義久	出席	
関 係 団 体	財団法人船場祭山科連合会理事長	阪尾 茂	出席	
	承いて暮らせるまもづくり推進会議代表	岡尾 弘徳	(代) 事務局 西野 孝	
	京のアジェンダ21フォーラム 課題にやさしい交通体系の創出ワーキンググループコーディネーター	山田 康博	出席	
	京都府京都市活動企画部副知事兼理事	北野 茂樹	出席	
社 事 協 会 等	京の三島まもづくり協議会会長	有本 高典樹	出席	
	京都駐車協合理事	陣田 和雄	出席	
交 通 事 業 者	全京都駐車協合理事	高橋 尚	(代) 会長 橋本 哲夫	
	鉄 道	関西電力株式会社都市交通事業本部都市交通計画課長	樋口 賢	出席
		京阪電気鉄道株式会社鉄道企画課課長	前田 勝	出席
		京都市交通局長	高下 博	出席
	バ ス	京都バス株式会社取締役企画部長	栗原 修一	(代) 企画部長 田中 裕
		京都バス株式会社運輸営業課長	清水 友之	出席
		京都市交通局自動車部長	前田 文男	(代) 担当部長 高村 浩
	タ ク シー	京都タクシー協同センター代表理事	奥田 信幸	(代) 幹事 北川 憲博
	ト ラ ック	社団法人京都府トラック協会専務理事	杉本 守	出席
	国 土 交 通 省	企画部企画課課長	山本 隆二	欠席
建設部都市整備課長		田村 隆昌	(代) 都市整備課長 橋本 哲夫 宮本 望弘	
京都府建設部所長		中島 慶長	出席	
企画部光部交通企画課長		池 俊哉	(代) 専門官 橋本 謙雄	
警 察	京都府警本部交通課交通課長	長尾 誠	出席	
	京都府警本部交通課駐車対策課長	田中 喜治	(代) 駐車対策第二課長 三島 幸二	
	京都府警本部中心部警備課総合対策推進課副課長	谷川 隆典	(代) 課長官 三津田 孝秀	
	京都府五島警察署長	三木 和幸	(代) 交通課長 石野 孝	
京 都 市	京都府東山警察署長	小長谷 一輝	欠席	
	総合企画局 企画部長	木村 宗敬	出席	
	環境局 環境企画課課長	種井 芳和	出席	
	文化市民局 市民生活部長	原島 郁弘	出席	
	産業観光局 観光部長	百川 隆輔	出席	
	都市計画局 都市企画部長	桐澤 孝男	出席	
	交通政策課長	石野 了	出席	
	建設局 土木管理部長	奥村 浩男	出席	
	建設局 道路建設部長	河瀬 敏郎	出席	
	中 京 区 役 所	区長部長	池田 康介	出席
下 京 区 役 所	区長部長	村上 圭子	出席	
交 通 局	企画課課長	木村 繁	出席	

(敬称略)

( 議事内容 )

1.開会

( 司会：都市計画局交通政策室 石崎室長 )

定刻になりましたので、ただいまから、「第5回歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」を開会致します。

皆様、本日は、たいへんお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。開会に当たりまして、榊本頼兼京都市長からご挨拶を申し上げます。

2.市長あいさつ

本日は大変ご苦労様でございます。

師走に入り、寒さもいよいよ厳しくまちなかもあわただしさを増してまいりました。

本日は年末の大変お忙しい中にもかかわらず、第5回歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

皆様におかれましては、平素から京都市への推進に格別のご理解とご協力、ご指導を賜っております。厚く御礼を申し上げます。歩いて楽しいまちなか戦略につきましては、昨年5月の本協議会設立以来、実に熱心なご議論をいただき、この10月には皆様の大変なご理解と、ご協力のもと全国的にも類例のない、画期的な社会実験を事故なく実施することができました。改めまして、皆様方ひとりひとりに心から感謝申し上げます。

期間中、私自身も現場に立ち、実験の状況を見てまいりました。私を感じましたことを率直に申し上げますと、歩道を拡幅しトランジットモール化した四条通や通過交通を規制しました細街路では、市民や観光客の皆様が、親子連れで手をつないで仲良く歩いたり、落ち着いた雰囲気で購入物や散策を楽しまれるお姿が見受けられるなど、まちなかがいつもと違いゆったりとした空気になっていました。笑顔がいつもより多いなと感じました。また、普段は渋滞が慢性化している四条通を、バスとタクシーが実にスムーズに流れておりました。

今回の実験を通して、京都市が目指すまちなかの将来像を皆様に充分イメージしていただけたのではないかと存じます。更に、公共施設やコインパーキングを借り上げて設置いたしました臨時駐輪場では、日ごとに利用者が増えましたほか、放置自転車の撤去を従来以上に強化した結果、歩きやすい空間を創出することができました。今後、駐輪場整備と放置自転車の撤去強化をパッケージ

ジとして取り組んでいくことの必要性を多いに感じた次第でございます。

一方で、気がかりな点もございます。それは交通規制において地域にお住まいの皆様のご移動や荷捌きをはじめとする物流にご不便をおかけしたこと、そしてまた、細街路や周辺道路の一部において渋滞を引き起こしたことなどであり、これらは来るべき本格実施に向け、関係者の皆様と共に解決に向けて努力していかなければならない課題であると認識いたしております。

今回の実験結果につきましては、後ほど詳しくご報告させていただきますが、引き続き皆様と将来のまちづくりや、構想のあり方について前向きな議論を進めてまいりたいと存じております。ご承知いただいているかと思いますが、私の任期は残すところあと2ヶ月余となりましたが、私が着手することができました様々な重要政策の中でも、この歩いて楽しいまちなか戦略は、9月1日にスタートした新たな景観政策と並び、50年後、100年後の京都の未来を見据えたわが国でも例のない先進的な取り組みのひとつであり、私自身の心の中にもいつまでも強く残る政策になると感じております。

ここにご臨席の皆様の叡智を結集していただくことで、京都の顔である歴史的都心地区において、誰もが安心、安全で快適に暮らせる、そしてゆったりと歩いて買い物や散策を楽しめる空間が必ずや実現できるものと確信いたしております。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本日協議会にご参加いただきました皆様におかれましては、大所高所から前向きな忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます、私のご挨拶とさせていただきます。

本日は本当にありがとうございます。

(市長挨拶を受け、京都商店連盟早瀬会長からご発言)

京都商店連盟

京都商店連盟の早瀬でございます。

早瀬委員

ただいま榊本市長様にはご丁寧なご挨拶をいただきました。ご承知の通り、今回榊本市長様は2月で退任されることになりました。平成8年の市長選に当選されまして3期12年、光輝く素晴らしい施策をいろいろ行っていただきました。その功績を詳しく述べますと、約2時間はかかります。

ポイントは本日のこのテーマでございます交通実験も、その最たるものでございます。これは既にお分かりの通り、環境問題と密接な関係でございます。京都議定書が作られて10年が経過し、来年はCO2の削減のカウントが始まる年でございます。この交通実験も3年後には1つのゴールを目指していることとなりますが、その時まで榑本市長様には市長というお立場でいて欲しかったと今でも思っております。

新しい市長を2月に迎えるわけでございますが、榑本市長様には市政のOBとして新しい市長にもご指導とご協力を一層賜りたいと思っております。

このうへは榑本市長様にはご健康に留意され、ご自愛をいただきますと同時に惜別の言葉といたします。どうもありがとうございました。

### 3.資料確認

(司会：都市計画局交通政策室 石崎室長)

### 4.議長あいさつ

(京都大学大学院工学研究科 北村 隆一教授)

北村でございます。

相変わらず声の出が悪いですけど、しばらくご容赦いただきたいと思います。

先ほども榑本市長と早瀬会長からお話をうかがいましたように、非常に画期的な社会実験をこの10月に無事終えることができ、個人的にも非常に嬉しく思っております。

これは市長をはじめといたしまして、住民の皆様、様々な関係団体の皆様と共にこの協議会におられます、自治連合会代表の方々をはじめとする皆様のおかげという、感謝の思いを述べさせていただきたいと思っております。

市長がおっしゃいましたように、私もこれは本当に京都の景観条例と並ぶ、京都の将来を決めていく、非常に大きな出来事だったと思っております。大げさになりますけど、この時代を生きていてよかったと思うほどの出来事ではないかと思っております。これを実現させた榑本市長のリーダーシップに非常に感謝を表したいと思っております。ありがとうございました。

そう申しまして、私個人的には非常に良かったと思っているんですが、必ずしも皆様がそう思っておられるわけではない。当然のことながら100人で100人が皆良いと思うようなものはない訳でございますから、これからはどこが悪かったのかどこがよかったのか、これをきちんと見極めて全員が納得

のできる，反対でも納得のできるものを作り出して，それをぜひとも早瀬会長のおっしゃいますように，3年を目処に1つのゴールとして実施していけたらと願っておりますので，今後ともよろしくご興味のほどお願い申し上げたいと存じ上げます。

本日も沢山のご意見よろしくお願いいいたします。

それでは座らせていただきまして，声が非常に出てくくなっている関係もございまして，まずは事務局の方から資料説明をいただいて，あとの質疑応答は，塚口先生の方で担当していただけたらと思います。よろしくお願ひします。

それでは，事務局の方お願ひいたします。

## 5.資料説明

(説明：都市計画局交通政策室 林企画課長)

### (議題1)

## 6.質疑応答

塚口副議長

● 社会実験の実施結果について，事務局よりご説明いただきました。ご質問やご意見がございましたら，挙手をお願いいたします。

京都駐車協会

津田委員

● 「歩いて楽しいまちなか戦略」における駐車問題対策協議会では，社会実験に伴う影響把握を図ったアンケート調査結果と，その結果を踏まえた提案書を取りまとめ，皆様のお手元にお配りしている。(資料説明：津田委員)

● 提案書の中で，各団体・業種別・地区別の詳細な経済効果の検証と，「歩いて楽しいまちなか戦略協議会及び同幹事会」の委員構成の最適化を提案させていただいている。地域の人から，意見を反映する場がないとの声を聞いた。戦略の推進に当たって，地域住民や事業所を軽視することのないよう，お願ひしたい。

塚口副議長

● 今後の進め方について，まずご意見をいただいた。この点については，後ほど事務局の考えをお聞かせいただきたいと考える。

北村議長

● 先ほど経済効果についてのご指摘があったが，私は今回の社会実験は，今後の京都都心の繁栄のために行ったものと認識している。まちの賑わいは，単にクルマが通り過ぎるだけでは産み出せない。クルマを降りて，まちを歩いていただいて，買い物や食事をしたり，散策をしてはじめて潤うものであると考えている。そうした環境，雰囲気づくりによって，まちのポテンシャル

や地価が上がるのではないか。

- 駐車することを目的にどこかへ行く人はいない。何か目的があって、まちへ行く。そこで駐車をする。人が行きたいと思える店や魅力がなければ、車でも歩いてでも来ない。まずまちを魅力的にすることが重要である。こうした点をご理解いただければ、また違った視点からのご意見もいただけるかと思われる。

津田委員

- 歩く人が経済効果を上げられるか。何か買い物をしようとして、帰りに公共交通で荷物を持って乗るだろうか。

塚口副議長

- 経済効果の検証については、地域全体で広範に捉えるべきである。もう少し議論が必要であるだろう。本戦略の取組が、歴史的都心地区に住む、働く、訪れる人全員の賛成を得られれば良いが、それぞれ視点や意見が異なることから、現実にはそうならない。

- 会議の一番最後にお尋ねしようと考えていたが、津田委員からのご意見に対する事務局の考えをお聞かせ願いたい。

事務局

- 京都駐車協会におかれましては、前回の第4回協議会で社会実験の実施にご賛同いただいた。改めて御礼申し上げます。
- 安心安全に、買い物や散策ができるまちを創出することが、「歩いて楽しいまちなか戦略」の目指す方向である。その中には、当然、経済波及効果も狙いとして含まれているとご理解いただきたい。

京の三条まちづくり協議会  
有本委員

- 今回の社会実験時の状況を踏まえ、1点気がかりなことがある。それは、将来的に施策として導入された際の、都心地区内及び周辺の幹線道路への負荷増大である。京都議定書採択の地としてCO2抑制など環境の観点からも、もっと真剣に考えないと、京都の値打ちが下がるのではないかと懸念している。

塚口副議長

- 都心地区に関連する交通需要をマネジメントすることが必要となるだろう。できるだけクルマに依存しない、部分的に自動車利用を控える等の工夫が必要である。施策化の検討においては、交通需要の管理も同時に考えるべきである。

有本委員

- 幹線道路へ与える負荷の程度については、慎重に検討すべきと考える。

- 塚口副議長 ● 有本委員のご指摘の通りと認識している。
- 京都府旅館生活衛生同業組合 ● この協議会には、各関係団体の長がご列席されているが、それぞれの団体が、今回の社会実験の結果をどのように捉えているのかを集約していただきたい。
- 北原委員
- 塚口副議長 ● 事務局において、実験後の各団体へのフォロー調査やヒアリングは行ったのか。
- 事務局 ● 実施できていないのが実情である。現在は、お答えいただいたアンケート結果を単純集計して、ご意向を把握している段階である。今後、更に詳細を検討する必要があると考えている。皆様がどのように感じられたのか、是非ご意見をお伺いしたい。
- 塚口副議長 ● 賛成・反対含め、色々なご意見をいただくことが必要である。本日の会議でご発言いただくことも良いし、また後日改めて事務局にお伝えいただくことも良いかと思われる。
- 北原委員 ● 他の団体がどう考えておられるかは気になる。気になる点としては、この協議会の委員に女性が御一方もいらっしゃらないことがある。
- 塚口副議長 ● 続いて、地元の自治連合会の方々からのご意見を頂戴したい。
- 日祥学区 ● 日影学区では、社会実験実施による影響が大きいと考えられたことから、実施前に地元説明会を開催し、実験への協力をお願いした。京都駐車協会におかれても、事務局にそのような場を設けていただくようお願いしてはどうか。
- 澤田委員
- 津田委員 ● 地元に住まれる方でも、実験実施を知らなかったという声を聞いた。このような会議に、自治連合会が地区の代表として出ることの是非に関する意見を聞いている。
- 塚口副議長 ● 地元での相互のコミュニケーションは重要であり、今後も十分に図っていただきたい。
- 中京東支部 ● 今回の社会実験は過酷な内容に敢えて挑戦した。多くの警察官、市職員、ガードマン、アルバイトスタッフがいたからこそ成し得たのではないか。
- 石野委員 ● 毎日、これほどの大体制を組める訳ではない。では、施策化に向けて、どうたら良いのか。また、施策導入においては、どのような内容にせよ、各団体・



自治連合会，商店等に大なり小なり我慢せざるを得ない，現状を変えざるを得ない部分が出てくる。それをどこまで容認できるか。今回の社会実験で，歩いている人は楽しかったかもしれないが，住んでいる人や車を利用する人はどう感じたか。

- 施策導入に際して，一つの商売が駄目になるようなことはあってはならないと考えている。四条通だけが楽しくても仕方がない。自動車交通を規制するにしても，荷さばきへの対応をどう行うのか。このような点を踏まえ，今後の検討を行うべきだろう。

- この協議会のような大きな会議の場で，反対反対ばかり言っていては，議論が前に進まない。反対であっても，ではどのようにしたら良いかという建設的な意見・議論が交わせるような，分科会のような場を設けていただきたいと考える。

北村議長

- 良いまちを作るためには，建設的な意見が必要であり，そうした意見を交わせる仕組みを作る必要があるだろう。事務局を擁護する訳ではないが，社会実験の実施に全力を注ぐ必要があったため，そうした仕組みづくりにまで手が回らなかったのではないかと思われる。

- 物流交通への対応は重要である。今回の社会実験のような共同荷さばき場だけでは決して十分でないだろう。一案として，現在の地区内駐車場の一部が荷さばき場になることも考えられるのではないか。

塚口副議長

- 施策化の検討において，キーポイントは物流車両の取り扱いかと思う。できるだけ使いやすそうな路外の場所に荷さばき場を設けるのか，例えば午前中指定などの時間規制で，道路上の荷捌きを認める等が考えられる。

- 以前から申し上げているが，「歩いて楽しいまち」とするためには，適切な場所に駐車場があることが必要である。そのためには，京都市の交通政策として駐車場整備に関する基本計画を策定し，誘導していくこと必要である。短期的な問題点・課題と，中長期的な問題点・課題は，分けて考えるべきである。

大丸京都店

大橋委員

- 大丸百貨店でも，社会実験中の3日間でアンケート調査を行い，172件の回答を得た。そのうち，実験に賛成は17件で約10%，反対は72件で約42%

であった。賛成・反対の他にも色々なご意見を頂戴した。その中で、やはりクルマで来たお客様は反対の意見が多かった。

- 今度の施策化に向けては、高齢者や荷物のある方などのアクセスを損ねることがないように、どのような受け入れ機能が必要か、どんな形で可能かを検討する必要があると考えている。歴史的都心地区はクルマで来れないというイメージが付いてしまうと、お客様が他の商圈へ流れてしまうことを懸念している。

新京極商店街  
細野委員

- 田の字地区は、本当に京都が誇る魅力を持っているのか。荒っぽい運転の自転車が多い。この地区に魅力を感じて、訪れていただくのは喜ばしいが、こうしたマナーの悪い自転車が年々増えている。
- 商業と生活の視点をごちゃ混ぜにしたまま議論しては、なかなか前に進まないだろう。まちの魅力をどう創造していくか、考えるべきである。
- ただ、3年後というゴールありきの進め方は、足元を見ずに進むようなものではないかと心配している。

塚口副議長

- 3年という期限自身が目標ではないが、皆が色々な思いを持っている中で、一つの取組を検討・推進するためには、ある程度、目標期間を設けることが必要となるだろう。

北村議長

- 人間は、期間を決めないと何もしない。これから3年先に何が起こるか。京都駅の更なる開発だけでなく、大阪では北梅田地区の開発や阪急の増床などに見られるよう、都心地区の競争相手がどんどん大きくなる。その一方で、都心地区内のマンションもまだ増えていくだろう。こうした傾向に対して、早い段階から手を打っていく必要があるのではないかと。都心地区はこのままで良いのだろうか。

細野委員

- 商売をする人間は、もっと前から危機意識を持っている。地区に魅力を持たせることは重要と認識しており、そのために日夜努力している。歩いて楽しいまちとすることが、どう魅力になるのか。

塚口副議長

- 第1回協議会でも同様の話題が挙がったが、交通まちづくりという考え方がある。単に交通対策を行うだけでは、当然まちの魅力や賑わいは産まれない。交通と地元のまちづくりを一体的に取り組むことで相乗効果を生み、まちの

- 活性化，賑わい創出に繋がると考える。
- その意味で，地元の方々が今後の都心地区の目指すべき姿をどう考えているのかについて意見を集約，交換することが必要になるだろう。
- 京都錦市場商店街  
宇津委員
- 生活の場の中での大変な実験であった。歩いて楽しいまちなか戦略は，モビリティ・マネジメントの考え方に基づいて，これまでのクルマ中心のライフスタイルから，できるだけまちなかを歩くことで回遊性，利便性を高めることができるのではないかと考えている。
  - 錦市場にも大きく分けて，小売と卸売の2つの業態がある。この実験でも共同荷さばき場が設けられ，その利用結果も提示されているが，将来的にどのような仕組みができるのか。例えば時間帯を指定するような形になるのか。物流交通についても細かく掘り下げた議論・検討をお願いしたい。
- 北村議長
- 荷さばき交通は都市に必要な要素であるため，よろしく検討お願いしたい。
  - 魅力ある都心地区とは何か。分かりやすい例を挙げれば，郊外のショッピングセンターと同じ発想では絶対に負けるということである。郊外の方は地価が安いので，大規模な駐車場を設けることが可能でありクルマが便利である。
  - 京都都心が郊外と同じではいけない。京都駅と同じ発想でもいけない。都心の利点とは何かを考えると，歴史，老舗，祇園，昼夜それぞれの顔があることが挙げられるのではないかと。これら利点・魅力を生かすために，まち全体として考えると，歩いて楽しいという発想に繋がるのではないかと。
  - そのためにも，建設的な議論を行う仕組みが必要となる。
- 細野委員
- 理念だけでなく，誇りを持って取り組める内容でないと，利害関係の対立や喧嘩ばかりになってしまうだろう。
- 塚口副議長
- 知性，感性，創造性を持って考えていくことが求められる。
- 傍聴者
- 国土交通省のホームページでは，トランジットモールは歩行者と自転車優先の道路となっているが，今回の社会実験におけるトランジットモールでは自転車は考慮されていない。環境問題を解決するという問題を抱えているにも係わらず，自転車の問題をないがしろにしている。
  - 京都市が歴史的都心地区と名付けている地区は，観光地ではない。ビジネス街や生活圏であって，観光客のために生活しているわけではない。

京のアジェンダ  
21フォーラム  
山田(章)委員  
塚口副議長  
事務局

- こうした協議の場には女性や消費者も含めるべきである。
- 事務局において、来年度以降の展開は、どのように考えておられるのか。また、沢山の人の意見を集め、議論を深める場をどのように設ける考えであるのか。
- 今後の進め方について、事務局の考えをお聞かせ願いたい。
- 今後の進め方についても、皆様との議論をさせていただきたい。
- 社会実験を繰り返すのか、今回の広範な社会実験を補完するような形で取り組むのか。荷さばき交通の取り扱いやまちの仕掛けづくりなどについて、意見集約・交換する場を積極的に設けたいと考えている。ご協力をお願いしたい。

塚口副議長

- ある意味では、社会実験を経た今日がスタートかと思われる。皆様、京都都心が大切であり、元気で楽しいまちにしたいという思いは共通だろう。厳しい議論をしないと、なかなか前には進まないだろう。

事務局

- 今後の進め方について、少し補足説明を申し上げる。本日いただいたご意見を整理し、次回の幹事会で今後の進め方も含めた議論を行いたいと考えている。
- 北村議長ありがとうございました。閉会に当たりまして、山崎副市長よりご挨拶させていただきます。

山崎副市長

本日も長時間に渡りまして、熱心なご議論を頂きまして大変有難うございました。

今回の社会実験の成案ということで、多々ご意見を頂いたわけでございますけれども、冒頭、市長のほうからご挨拶がございました通り、3年後に「歩いて楽しいまちなか」、これを実現、具体化するという大きな目的のために、皆様方とこうやってお話を組み合いさせてきているものだというふうに考えております。

このお約束というのも、市長の一方的なお約束というわけではもちろんございません。ただ、行政が一方的に皆様方に案を提出するというような意味でのお約束でもございません。関係者の皆様の総意による双方向のお約束であるという考えでいいだろうという考えでございます。

この1年間の議論を通じまして一番大きな目的は、今すぐ歩いて楽しいまちなかづくりの事柄に関しての皆様方の総意は、かなり収斂されてきているところがあるのではないかと、そういう意味で議論を深めて参りましたことで、一層認識が深まったものと、進化したものというふうに考えてはございますが、ただ本日、忌憚のないご意見を賜りましたところでも、私ども充分承知いたしましたけれども、実現に向けましては、今後の課題整理というのは、かなり多く残っておりという認識でございます。

特に、今般の社会実験につきましては、これは早急に諸課題を、最後、私ども事務局の責任で整理させていただきたいと思っておりますが、是非とも皆様方には、社会実験自体が進化していくものであるというふうにお考えいただきまして、先ほど委員長から賜りました対応を欠かさず、くじけず、我々市役所も、ぜひ皆様、関係者の方々との対話は今後も引き続き、続けてまいりたいと思っておりますし、粘り強く皆様方との意見の収斂をみるべく、努力したいと考えてございます。

今回の社会実験イコール3年後の実現という形ではございません。これが第一歩であるという考えでございますので、引き続き皆様方のご協力を賜りたいと思っております。一緒に今回の社会実験を踏まえて、さらに議論を進化させていただければと念じておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

大変恐縮ではございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。本日は有難うございました。

事務局

- 本日は、長時間にわたり、活発な御議論をいただき、誠にありがとうございました。今後は、2月に開催を予定している幹事会を経て、3月には、次の協議会を開催する予定としております。
- 以上をもちまして、第5回「歩いて楽しいまちなか戦略推進協議会」を終了致します。

以上

7.閉会